

福井県民の消費者マインドは… 節約意識は維持でも物価高に慣れも



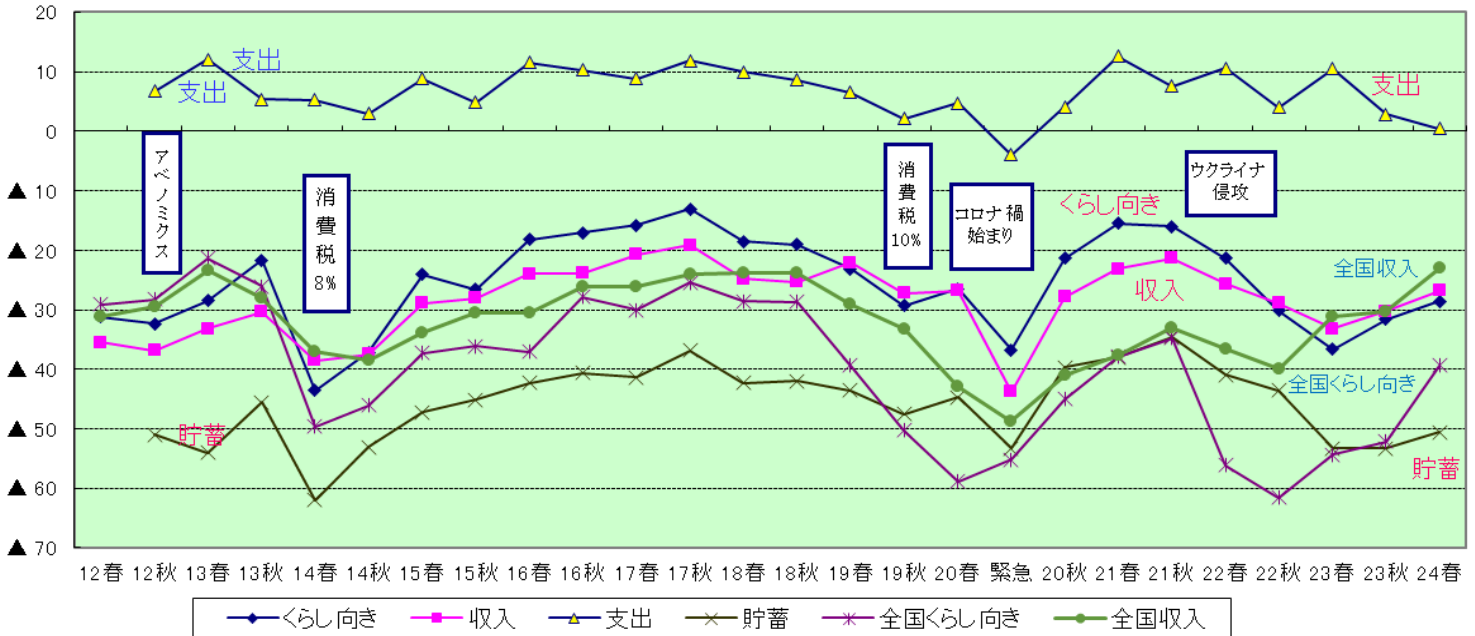
福井県内の消費者に、半年前と現在の暮らし向きを比べた生活実感、および今後半年間の暮らし向きについて質問し、D.I.値（「良い」「やや良い」から「悪い」「やや悪い」の回答割合を差し引いた数値＝景気動向指数）の結果から、福井県民の今の消費者マインドが見えてきました。この紙面でお伝えできない調査結果はくらナビホームページで報告しています(<https://www.kuranavi.jp/reports>)ので、どうぞそちらもご覧ください。

- ① 今後の暮らし向き・収入については、D.I.値が前回から僅かに改善している一方、支出は過去2番目に低くなりました。物価高により、支出が増えるだろうという見通しから転じて、節約と生活防衛意識の定着を表す結果となりました。
- ② 現在(実質)の暮らし向きと収入では、悪化はしていないものの前回からの変化はほとんどありません。「収入」よりも「暮らし向き」の実感が悪い状況が一年続いています。
- ③ 物価の高騰に対して給料がほとんど上がらないという声が多く寄せられています。

2024春 今後半年間の暮らし向きなど

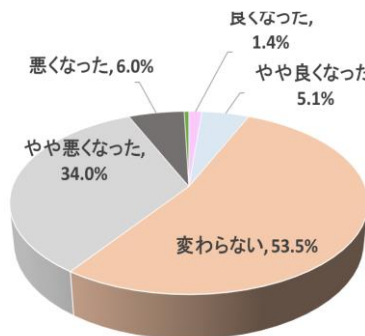
	暮らし向き	収入	支出	貯蓄
良くなる(増える)	0.8%	1.0%	8.9%	1.0%
やや良くなる(やや増える)	3.7%	6.2%	21.6%	3.3%
変わらない	61.9%	57.9%	38.4%	40.2%
やや悪くなる(やや減る)	26.3%	24.8%	20.8%	35.6%
悪くなる(減る)	6.5%	8.9%	9.2%	18.7%
無回答	0.8%	1.3%	1.1%	1.3%
D. I. 値	▲ 28.6	▲ 26.8	0.5	▲ 50.6

今後半年間の暮らし向きなど 過去のD.I.値推移

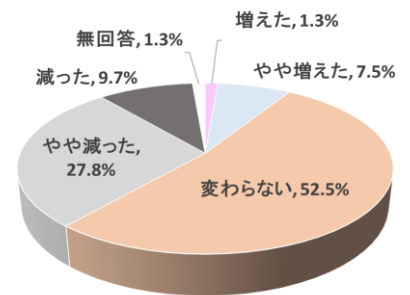


前年と比べて実質暮らし向きと収入の変化 D.I.値推移

実質の暮らし向き			
22年秋	23年春	23年秋	24年春
▲ 23.7	▲ 35.0	▲ 36.0	▲ 33.5
実質の収入			
22年秋	23年春	23年秋	24年春
▲ 27.9	▲ 30.7	▲ 30.9	▲ 29.1



24年春 前年と比べた実質暮らし向き



24年春 前年と比べた実質収入